

山田猪三郎碑 ～日本式飛行船のパイオニア～

(和歌山市和歌浦)



山田猪三郎碑 (高津子山登山道)

1886年(明治19)潮岬沖で英国船が遭難し、英国人船員全員はボートで助かったが、日本人乗組員全員が遭難死するというショッキングな事件が起きた。トルコ軍艦エルトゥール号遭難の4年前である。義憤にかられた山田猪三郎は大阪のゴム加工会社で技術を習得。日本初の海難救命具を開発し海軍に納めた。技術は気球開発へと繋がる。1904年(明治37)日露戦争での旅順攻略の際、この気球は高所からの見張りで大活躍した。(この功績で勲章授与された)気球はその後飛行船へと進化し、1910年(明治43)山田式飛行船第一号が飛行に成功、翌年東京上空を一周した。この時の状況はNHKのテレビ小説「はね駒」の中でドラマ化された。猪三郎は1913年(大正2)51歳の若さで病死した。

ところで猪三郎の人生の一大転機となった英国船遭難事件では英国との不平等条約が大きくクローズアップされ、改正を求める世論は沸騰した。1894年(明治27)当時の外相陸奥宗光は改正に尽力し成功した。遭難事件から8年後である。陸奥宗光も和歌山が生んだ偉人の一人です。(取材 萬羽)



恐竜ランド ～洞窟ラビリンスで恐竜体験～

(かつらぎ町花園)

花園村は高野山の麓にある。明治になるまでは高野山直轄の寺領で寺や庵が沢山あったという。ここ小原洞窟はもともと滝修行中の僧によって発見された光り物が元となった銅鉱山の坑道跡で、昭和40年頃まで採掘が続けられたという。小原洞窟恐竜ランドは洞窟の持つ太古のイメージと恐竜をドッキングさせた村おこしの観光施設です。入口でヘルメットを受け取りいざ中へ。色とりどりにライトアップされた洞窟内には恐竜の模型やお地蔵さん、閻魔大王、鉱石など展示物が多い。水が流れる箇所や小さな滝もある。通路は狭く時には急階段を登ったり降りたり。迷路の様な洞窟内部は大人でも冒険心がすぐられます。一度訪ねてみませんか。(取材 萬羽)



ラビリンス入口



洞窟内部



恐竜ランド



休園日
冬季期間
10月から2月末まで
毎週不曜日
(但し祝日は開園)